

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

2 月 度

1. 組織活動報告

(1) 主な組員活動等（12 月 1 日～1 月 31 日）

生協名	生活協同組合コープみらい
報告者	本多 達

月日		参加人数・活動内容・特徴など
12 月 1 日	<p>コープみらいプラザまつり in 川越</p> 	<p>12 月 1 日（日）コーププラザ川越にて「コープみらいプラザまつり in 川越」を開催し、220 人の参加がありました。コープみらいカルチャーや地域クラブ、共済センター、川越介護センター、地元の大学や中学校のご協力の下、発表・体験・販売が行なわれました。西北ブロックでは親子クッキング教室を開催して「簡単にできておいしい」と喜ばれました。参加者からは「毎年楽しみにして来ています」などの感想が寄せられ、楽しい 1 日となりました。</p>
12 月 7 日	<p>コープみらいプラザまつり in 大宮</p> 	<p>12 月 7 日（土）コーププラザ大宮にて「コープみらいプラザまつり in 大宮」を開催し、300 人の参加がありました。コープみらいのカルチャーや地域で活躍されている団体、地域クラブ、近隣の大学生にもご協力いただきました。ブロック委員会では商品の試食やコーヒーなどの販売を行いました。フィナーレのステージではほぺたん、出展団体、参加者と一緒に中部ブロックの歌を歌い会場が一体となって盛り上がり、テーマ通り「おいしい！たのしい！うれしい！」おまつりとなりました。</p>
12 月 10 日	<p>コープみらいカレッジ 深谷キャンパス</p> 	<p>12 月 10 日（火）コーププラザ深谷にて「コープみらいカレッジ」深谷キャンパスが開講され、受講生 9 人が出席しました。今回は、農研ねぎを使ってねぎ尽くしメニューを調理しました。交流の場では前回持ち帰った農研ねぎをどのように調理したか伺ったところ、様々なレシピで食べられていました。最後には厳かな雰囲気卒業式を執り行い、卒業証書と共に 7 ヶ月の学習が笑顔で終わりました。</p>
12 月 5 日～ 12 月 24 日	<p>ユニセフハンド・イン・ハンド</p> 	<p>12 月 5 日～12 月 24 日の期間にて「ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」をブロック委員会と埼玉県ユニセフ協会が中心となって県内 20 ヶ所で実施いたしました。271 人が呼びかけに参加して、400,832 円の募金が寄せられました。12 月 22 日（日）の JR さいたま新都心駅会場には清水勇人さいたま市長、JR 川口駅東口会場には奥ノ木信夫川口市長が呼びかけに参加してくださいました。</p>
1 月 23 日～ 1 月 31 日	<p>2020 年度ブロック委員募集説明会</p> 	<p>1 月 23 日～1 月 31 日の期間にて「2020 年度ブロック委員募集説明会」がプラザ 8 会場、店舗 2 会場で開催されました。説明会への応募者は全ブロック合計 103 人（前年のブロック委員応募状況は 120 人）、その内の 95 人が説明会へ参加しました。さらに説明会後の面談には 77 人（東北 11 人、東南 9 人、南部 11 人、西部 12 人、西南 7 人、西北 7 人、北部 6 人、中部 14 人）が進みました。各ブロック委員会では、新しい仲間づくりをすすめています。</p>

(2) 社会貢献やCSR活動等

・県内 10 箇所の施設（プラザ 8ヶ所、浦和東店、武蔵浦和店）でフードドライブの取り組みを実施しています。12 月度 108.92kg、累計 2921.30kg（2017 年 9 月～2019 年 12 月 30 日現在）の商品が NPO 法人フードバンク埼玉を通して生活困窮者へお渡しされています。

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

--

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
2 月 14 日	埼玉エリアブロック委員全体交流会	埼玉エリア
2 月 18 日	コープみらいカレッジ 越谷キャンパス	東南ブロック
2 月 22 日	ユニセフ感謝状贈呈式	
2 月 26 日	新任ブロック委員集合研修①	
2 月 28 日	コープみらいカレッジ 所沢キャンパス	西南ブロック
2 月 29 日	オキナワ平和の旅事前交流会	
3 月 6 日	コープみらいカレッジ 所沢キャンパス	西南ブロック
3 月 7 日	コープみらい秩父の森	埼玉エリア
3 月 10 日～13 日・15 日	3 月ブロック別総代会議	
3 月 18 日	新任ブロック委員集合研修②	
3 月 26 日～28 日	オキナワ平和の旅	
4 月 9 日	ブロック委員全体会	
4 月 11 日	オキナワ平和の旅 体験報告交流会	

(5) 組合員拡大 1 月 20 日現在

1 月度（人）			4 月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
11,477	6,873	4,604	182,135	98,083	84,052	3,554,613

(6) 組合員組織状況 1 月 20 日現在

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数(地域クラブ)	440 (4,688 人)
支部・運営委員会数	8ブロック (埼玉エリア)	支部・運営員数	107 人 (ブロック委員)

2. 事業報告 1 月 20 日現在

1 月度		4 月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
32,121,963 千円	97.9%	326,920,432 千円	99.9%

コープみらいの2020年度参加とネットワーク活動方針（確定案）

コープみらいの理念・ビジョン 2025 の実現をめざし、SDGs の考え方を大切にしながら、参加とネットワークの第3期中期計画実践の初年度として、2020 年度活動方針を共有し、活動をすすめていきます。

活動をすすめるうえで大切にすること

ひとりひとりが考え、みんなで話し合い、お互いに多様性を認め合える場づくりを大切にします。SDGs(持続可能な開発目標)の考え方を大切にしながら、くらしと地域を豊かにする活動に取り組み、コープみらいのファンづくりを進めます。

I 参加とネットワークの広がり

① 参加の広がり

- ・ 学びや交流、声の発信ができる場をつくり、参加を広げます。
- ・ 多様な参加を進め、地域コミュニティの一員としての活躍につなげます。

- (1) 多様な参加をめざして、ニーズを知り、学びや交流ができる様々な場をつくりまします。
- (2) これまで参加が少なかった若年層や男性、シニア層など幅広い層の参加を広げることが大切にしまします。
- (3) 生協の運営への組合員の参加が広がることを大切にしまします。
- (4) より多くの組合員が総代を経験できる機会を広げまします。総代候補者とのつながりをつくり、総代会議などの話し合いの場をつくりまします。

② ネットワーク（つながり）づくり

- ・ 人と人とのつながりや居場所づくりを進め、事業や様々な団体とつながり、お互いに助け合えるあたたかな地域社会をつくりまします。
- (1) 人と人がコミュニケーションを重ねて、つながることを大切にしまします。
 - (2) 居心地のよい居場所“サードプレイス”を地域につくる取り組みを進めまします。
 - ① 地域に開かれた笑顔あふれる居場所をめざし、“いつでも・どこでも・誰でも気軽に参加できる”みらいひろばについて今後の可能性を話し合っています。
 - ② 人と人がつながることで、社会的孤立などのくらしを取り巻く課題の解決につながる居場所づくりや仕組みづくりを大切にしまします。
 - (3) 自治体とのつながりづくりを進めまします。
 - ① 自治体訪問では、地域のニーズと私たちの活動を共有し、ともに取り組めることを考え合います。
 - ② くらしと地域づくりに関わるテーマと共通する自治体の取り組み(環境展、防災訓練、消費者展など各種イベントなど)に参加しまします。
 - (4) 学校教育の場や地域の諸団体・企業ともつながり、連携した取り組みを広げまします。

- ① 出前授業や寄附講座を通して、地域の人々や子ども、大学生の学びの支援につなげます。
- ② **コープみらいが助成する団体**をはじめ、大学生協や医療生協、SDGs を推進する企業や学校など様々な団体との新しいつながりにチャレンジします。
- (5) **地域クラブ**の取り組みを知り、つながりを大切にします。
- (6) 東日本大震災から10年、「忘れない、伝える、続ける、つなげる」ことの意義をあらためて共有し、今後も**被災地・被災者支援**の取り組みを進めます。
- (7) **コープみらいカレッジ**は、学びたい気持ちと参加者どうしのつながりを大切にします。そこで得た知識や出会いを活かし、地域やコープなどでいきいきと活躍していくことをめざします。

③ 組織づくり

- ・ **楽しさとやりがいを持てる活動を、協力し合って進められる“持続可能な組織”をつくります。**
- ・ **多彩な暮らしと地域づくりに向けて、多様な担い手づくりを進めます。**
- (1) くらしや地域の課題をテーマに取り組む担い手「**活動サポーター**」(食育サポーター・エコサポーター等)、みらいひろばのエディター(世話人)、たすけあいの活動を進める組合員、子育てサポーター等の可能性を考え合います。
 - ① ブロック委員会とともに活動する**新しい活動サポーター**づくりを進めます。
- (2) 一人ひとりが**楽しさとやりがいを持って取り組める活動と、地域のコーディネーターとしてのブロック委員の役割**について考え合います。

④ 共有・発信

- ・ **共有と共感を大切にしたコミュニケーションを進め、“伝えたいこと”を受け手にわかりやすく発信することにチャレンジします。**
- (1) 参加とネットワークの活動を共有・発信し、**コープみらいのファン**づくりを進めます。
- (2) 取り組んだことを共有し、認め合えることを大切にします。
- (3) 取り組みを共有するための伝え方やツールの工夫をします。
- (4) **SNSの活用**など、受け手と時代に合わせた発信に、積極的にチャレンジします。
 - ① 受け手にとってわかりやすい表現で伝えます。
 - ② 「やってみたい」「参加したい」「伝えたい」と受け手が感じるような、**魅力的で目にとまる発信**にチャレンジします。

Ⅱ くらし・地域づくり

① 「食と商品」

商品を真ん中にして交流する「商品コミュニケーション」を進め、食と健康、食育「たべる、たいせつ」を推進していきます。

- (1) **健康をはぐくむ食育「たべる、たいせつ」**を推進するために、**商品コミュニケーション**に取り組みます。

- (2) **食の安全・安心**や**フードチェーン**、**フードロス**など食をとりまく問題、**エシカル消費**(倫理的消費)、**生協の産直**(農・畜・水産)の取り組みや生産者の想いなどを学ぶ機会をつくります。
- (3) **CO・OP商品60周年**の取り組みを進めます。
- ① 「**特別な、あたりまえ**」をメインコピーに、CO・OP商品の学びや試食から、組合員の願いから生まれたことや、コープの価値や商品の良さを実感する取り組みを進めます。
 - ② コープデリグループ共通の取り組み「**CO・OP商品60年の物語と想いを見つめ、未来につながる商品コミュニケーション**」を事業とも連携しながら進め、共通の商品の取り組み「**みんなでおためし!**」などを通じて広く共有・発信を進めます。

② 「くらし」

持続可能な未来のために、くらしを取り巻く多様な課題に向けて、学びあい、共感し多彩な活動に取り組みます。

- (1) **子育て支援、貧困・格差問題、奨学金**など、その実態を学び取り組みを続けます。
- ① 子育てを応援する取り組みを地域に広げます。
 - ② 子どもが置かれている状況を知り、**子どもの未来アクション**など学びを広げるとともに、コープみらい財団で進める**奨学金給付事業**や、**フードドライブ**や学習支援など、諸団体とつながってできることを考えます。
- (2) **高齢者・LGBTQ・障がい者・外国人**など様々な立場の人々をとりまく課題について取り組みを進め、自治体や地域の諸団体との連携を大切にして、協同の力で推進します。
- ① **人生100年時代**と向き合い、くらしの困りごとに対応した助け合いの活動の持続的な発展と、**高齢者の活躍**について話し合い、取り組みを進めます。
 - ② 知らない問題や見えにくい問題について、知ろう・見ようとする気持ちを大切にして、社会的弱者や少数の立場にいる人々を取り巻く社会的な問題を知り、学びを進めます。
- (3) **防災・減災**の取り組みについては、自然災害が頻発する中、災害の教訓を生かし、知恵を交流し、具体的な行動につなげます。
- (4) **地球温暖化**や**使い捨てプラスチック問題**等の環境問題について学び、**エシカル消費**や**コープテリのエコ活**など私たちができる取り組みを進めます。
- (5) **平和の大切さ**を次世代に継承する取り組みを進めます。
- ① **平和の旅**や学習など「**知り、学び、伝える**」機会を広げ、平和の大切さを次世代に継承する取り組みを続けていきます。
 - ② **核兵器廃絶**や被爆者の想いに心を寄せ、**NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議**へ組合員の代表派遣も行い、学びと理解を広げます。
 - ③ 憲法について理解を深め、自ら考えることを大切にします。
- (6) **ユニセフ**などですすめる国際貢献の取り組みから、世界で起きていることを知り、募金の活動など、私たちができることを考えて取り組みを進めます。
- (7) 若年層や高齢者を中心とした**消費者被害防止**など消費者をめぐるくらしの諸課題を見据えて、**消費者力向上**に取り組みます。

以上

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連様）



12・1 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（12 月 1 日～1 月 31 日）

生協名	パルシステム埼玉
報告者	石川 誠

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
12/7 (土)	沃土会「収穫祭」 	パルシステムの産直産地、沃土会（深谷市）で収穫祭を開催し、26 家族 72 人が野菜の収穫を楽しみました。4 つのグループに分かれて生産者とともに畑に入り収穫をしました。昼食には女性部「菜々の会」特製の野菜満載の料理が振舞われました。その後の野菜クイズやじゃんけんゲームでは、子どもたちがお土産獲得にやる気満々、大いに盛り上がりました。最後に生産者が閉会の挨拶を行い、「生産者の思いを野菜にいっぱい詰め込みました。ぜひ、おいしくたくさん食べてください」と締めくくりました。
12/11 (水)	フレイル予防！いつまでもはつらつ前向きに「口腔フレイルについて」	医療生協さいたまと共催で、今年度 6 回目となるフレイル予防講座を開催し、参加者とサポーターあわせて 15 名が参加しました。今回の座学テーマは「口腔フレイル」で、生協歯科より歯科衛生士を講師に迎え、歯周病や歯の磨き方、誤嚥予防の体操などを教えていただきました。
12/19 (木)	子サポのママカフェ 	ぱる★てらすで、ママカフェを開催しました。いつもの手遊びでウォーミングアップしたあとは、クリスマスの絵本と「うまれてくれてありがとう」を子育てサポーターに読んでもらって心がじんわり。クリスマスメドレーのオルゴール BGM が流れるなか赤と緑の折紙やシールでクリスマスオーナメントを作りました。
1/11 (土)	沃土会「ねぎ祭り」 	今回は初企画のイベントとなり、収穫体験から昼食まですべてねぎづくし！当日は 28 組 75 名の参加。深谷ねぎの圃場まで移動し 3 グループに分かれ、生産者から抜くときの注意点や、ねぎの特徴について教えてもらい収穫しました。収穫後は、収穫したねぎの重さを測定し、ねぎ剥き体験と深谷ねぎの試食を行いました。品種「味十八番」をはじめ 3 種類を試食。炭火で素焼きにした新鮮なねぎは、驚くほど甘みがあり、参加者は顔をほころばせながら夢中で食べました。収穫したねぎの糖度測定ではなんと 13 度！果物と変わらないほどの糖度を記録しました。昼食交流後はお楽しみ企画「ねぎクイズ」「ねぎ重さ当て」「じゃんけん大会」などを行いました。じゃんけん大会ではこんせんくんと共にふっちゃんも参加してもらい、子どもたちと一緒に大会を盛り上げてくれました。参加者からは「ねぎだけでこんなに満足できると思わなかった」「ねぎの本当のおいしさを知れた」などの声を多くいただき、大盛況のねぎ祭りとなりました。
1/15 (水)	フレイル予防！いつまでもはつらつ前向きに「フレイルって何？」（1 月 15 日）	今年度 7 回目となるフレイル予防講座を開催し、参加者とサポーターあわせて 16 名が参加しました。今回の座学は浦和民主診療所事務長の宇田川氏が講師となり、フレイル予防の基礎についてお話いただきました。座学の後はグループに分かれて簡単な測定を行いました。
1/17 (金)	進化する大人用オムツの上手な使い方	認定 NPO 法人さいたま NPO センターとの共催により、大人用オムツの正しい装着に関する学習会を開催しました。オムツ製造元のユニ・チャームの担当者が講師となり、大人用おむつの種類や装着の仕方を 12 名参加者に向け丁寧に解説していただきました。フィットしていないと漏れてしまう例が多いことや日中と夜間の使い分けなど、漠然とオムツを購入せずに、使用するかたの年齢や体重、状態を考慮し、パッケージ表示をきちんと確認して購入することを教えていただきました。

1/17 (金)	発酵パワーをおいしく食べよう! 	「おいしくお料理して、身体の内側からキレイになりましょう」をテーマに料理教室を開催し 34 名が参加。食育サポーターが考案したレシピは、栄養価をアップさせ、腸内環境を整えてくれる発酵食品を気軽に取り入れられる、「味噌とヨーグルトをメインにした「鮭とじゃがいもの味噌バターグラタン」「味噌ヨーグルト漬物」「納豆汁」「十二穀ごはん」「柿のクラフティー」の 5 品。まずは食育サポーターが発酵食品の説明とデモンストレーションを行い、その後、アドバイスを受けながら、参加者同士協力して料理を作りました。参加者からは「和やかで楽しく参加できました。材料もすぐ手に入るものだし、応用もできそう。」等の好評の声を頂きました。なお、当日は、ご家庭で余った食品を持ち寄るフードドライブを実施し、23 点 (8.2 kg) を寄付いただきました。ご協力ありがとうございました。
1/19 (日)	認知症予防講演会 	埼玉会館で、いきいきネットワーク主催の認知症予防講演会として、認知症予防の第一人者である朝田隆先生を講師にお迎えし開催しました。180 名近い応募があったため抽選を行い、当日は 80 名が参加しました。参加した組合員からは、人とのつながりや運動の大切さを改めて認識したとの声が多く挙がりました。今回、抽選で半数近い方が落選されていますので、次年度も同企画の開催を検討していく予定です。

(2) 社会貢献やCSR活動等

1. ばる★てらす「親子ふれあいサロン」毎週金曜日に開催

(2018 年度：開催 50 回 延べ参加 1,231 名 2017 年度：開催 51 回 延べ参加 654 名)
4 月～1 月 31 日 開催 42 回 延べ参加 913 名

2. いきいきネットワーク

(2018 年度：活動時間 5,287.5 時間 2017 年度：活動時間 5,088 時間)
4 月～12 月活動時間 3,847 時間 前年比 93.4%

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
3/6	2019 年度生産者・消費者交流会	交流会
3/9	フレイル予防！いつまでもはつらつ前向きに	講座
3/10	ひきこもり勉強会～家族の立場から～	学習会

(5) 組合員拡大 12 月末日現在 ※ () 内 予算比

12 月度 (人)			4 月からの累計 (人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
1,993 (90.7%)	1,937 (116.0%)	56 (10.6%)	23,206 (98.9%)	17,274 (102.1%)	5,932 (90.7%)	207,892

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

テーマ委員会数	5	テーマグループ数	14
地区会数	25	エリア委員会数	4
サークル数	59 (46/13)	委員数	233

2. 事業報告

1 月度		4 月より累計	
受注高	前年比	事業高	前年比
1,996,702 千円	99.4%	22,820,756 千円	100.7%

以上

2020 年度事業活動方針（1 次案）

1. 社会構造とくらしの変化に対応するため、次世代へ継承出来る経営と育成に取り組みます。

【経営】

- (1) 供給高●●●億円を達成し、経常剰余率●●●%を目指した信頼ある経営を行います。
- (2) 職員の労働安全や健康管理面等の促進を行い、雇用の安定を図ります。また、大規模自然災害等に備えた対策として、訓練及び運用の検証と見直しを行い、自然災害時の行動指針に役立てます。
- (3) 2020 年ビジョンの総括を行い、組合員の声を反映しながら 2030 年ビジョン「10 年後のありたい姿」として第 28 回通常総代会で特別報告します。
- (4) 次世代を担う職員への継続的な育成をつうじて、理念、ミッションのさらなる浸透につなげます。また、災害ボランティア等の要請があった場合は、意義と安全性を確認し、育成の観点から積極的派遣を行います。
- (5) 事業や活動情報の発信を機関誌やホームページの改修を重ねながら強化していきます。また、新たな広報手法として、動画の活用を行います。SNS などのコミュニケーション機能の導入に向けて実験展開します。
- (6) 内部監査での指摘を有効に生かしながら問題点の改善を適時適切に行い、自律的な経営改善の態勢を整備します。また、職場の声を収集し、職場環境の充実とコンプライアンス維持に努めます。

2. 「食」から「くらし」のお役立ちまで幅広く行い、地域の「目」としても活躍できる事業に成長させます。

【パルシステム事業】

- (1) 紹介試食会（プチパーティ等）の開催や、加入前に商品を実感できる「お試しセット」の広報を行い、新規組合員拡大●●●件を目指すとともに、利用をお休みしている組合員に向けて利便性の向上を再度案内し、利用組合員を増やします。
- (2) CO・OP 共済は、事業と活動が一体となりジュニアコースや満期継続のお知らせ等、組合員のくらしにあった保障提案を行い、CO・OP 共済の保有件数●●●件を目指します。
- (3) サービス事業の広報を積極的に行い、組合員の「住まい」と「くらし」の悩み解消につなげます。
- (4) 全ての業務に安全運転を最優先し、新入協者向けの安全運転研修を強化するとともに、車載器を活用した個別指導を行い、事故の削減と道路交通法の遵守に努めます。
- (5) 配達時の状況を登録者にお知らせする「見守り安心サービス」の広報を定期的に行い、組合員の安心に役立てます。また、異変を察知した際の行政等との連携事例を共有し対応力を学びます。
- (6) 厳しい雇用確保をふまえ、将来も供給事業を安定させるために、新たな商品供給スタイルについて調査研究を行い、提示します。また、現センターの将来を見据えた物件調査を行います。

3. 組合員が安全・安心を実感できる企画を行います。また、生活の中から環境を守る活動に繋がる取り組みをします。

【食の安全・安心】

- (1) 事業と活動が一体となり、「ほんもの実感！」くらしづくりアクションをすすめ、パルシステムの商品づくりの価値や食育活動の理解を深める機会をつくります。
- (2) 親子で参加できる、パルシステムの安全・安心を支える商品検査センターやセットセンター見学会、PB 商品工場見学などを企画します。
- (3) 生産者と組合員が交流する機会をつくり、顔が見える関係づくりと相互理解を深めながら、産直商品の価

値を理解し利用普及をすすめます。

- (4) 商品学習会や商品展示会などを通して、産地やメーカーとの交流を行い、商品を知る機会をつくります。

【環境】

- (1) 組合員のくらしの中で環境意識が高まる、省エネポテンシャルを喚起する活動に取り組み、事業所や家庭でできる地球温暖化対策を推進します。
- (2) 石けんの魅力を伝え、利用者を増やす取り組みを組合員活動と連携して進めます。また、食品ロス削減やプラスチック削減、3R（リデュース、リユース、リサイクル）など地球にやさしいエコライフを推進します。
- (3) こどもたちの未来のために、安全で安心できるパルスシステムでんきを推進します。また、発電産地との交流を通してエネルギーづくりに懸ける想いを共感する機会をつくります。

4. 組合員活動の更なる広がりをすすめながら、様々な課題に対する学びと実践の機会をつくります。

【活動と運動】

- (1) 組合員活動における課題を整理しながら、活動のルールの見直しをすすめ、地域のくらしを良くするために、地域に根差した活動の更なる広がりを推進します。
- (2) 未組織エリアの立ち上げ支援や、新規組合員を対象に、インターネットやメールを活用した企画を行い、組合員活動への歩みを広げます。
- (3) 新たな地域活動施設の開設に向け、組合員の多い西部エリアを軸とした物件調査を開始します。北部エリアの新たな活動拠点として新熊谷センターを活用します。
- (4) 助成団体や関係団体と連携し、情報発信を行いながら地域における組合員の様々な活動への参加参画につなげます。
- (5) 争いがない平和な社会の実現に向けて、戦争や核兵器問題などを学ぶ機会をつくり、平和への関心を高めていきます。
- (6) 東日本大震災の風化防止と復興支援の取り組みを継続するとともに、自然災害に対する防災や減災について学ぶ機会をつくります。
- (7) 埼玉産直協議会『農・彩・土』での活動や里山保全活動、神川町での大豆トラスト運動など、県内の地産地消活動を推進し、埼玉の魅力を発信しながら環境保全に取り組みます。

5. 各世代に寄り添った活動を展開し、共生の社会づくりを目指した取り組みを行います。

【福祉・地域貢献】

- (1) 超高齢社会の課題に向き合い、健康維持や認知症予防と介護に関わる方へ向けた学習会を開催します。
- (2) 支援団体と連携しながら、イベントやスポーツ等を通して、障がい者とふれあう機会をつくり、障がいへの理解を深めていきます。
- (3) 親子ふれあいサロンを継続し、子育て層を対象とした企画を通して、子育て支援に取り組みます。
- (4) いきいきネットワークの活動を充実させるための広報や学習会を行い、たすけあいの輪を広げます。
- (5) 貧困問題に対し、フードバンク活動や学習支援等、困窮家庭を支援している団体と連携し、取り組みをすすめます。
- (6) 急増している消費者被害を防止するため、事例や対処方法について情報発信を行います。


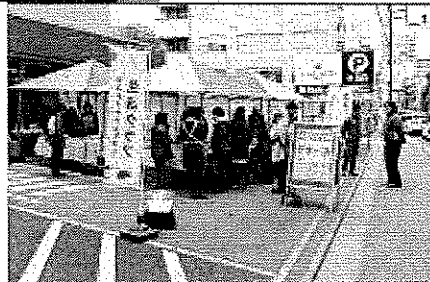
活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連御中）

1～2月度報告

生協名	生活クラブ生協
報告者	活動広報課長 中村泰介

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（ 1～2月 ）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
2/8 2/9	展示即売会@北本生活館	きて、みて、ふれて、たしかめて。二日にわたり、普段手に取る事のできない品物を、見て買える展示即売会を開催。靴、スーツ、眼鏡、真珠などなど、15生産者以上が集まりました。来場者178名、供給目標500万円のところ539万円で上回りました！
2/8 2/15	さんとめどんぐりヤマの落ち葉はき	埼玉西部の三富地域で江戸時代から落ち葉堆肥を活用した循環型農業が行われてきました。伝統農法を守るため、農家だけではやりきれない冬の落ち葉はきを今年も行いました。
毎週 日曜日	デポー市開催	 
2月～ 3月	せっけん運動 7月シャボン玉月間に向けた、 キャッチコピーとポスター募集	毎年生活クラブでは、7月にシャボン玉月間と題して、各行政に組合員が訪問し、せっけんを推進するための首長メッセージの依頼を行っています。7月のポスターのキャッチコピーと原画の募集を行っています。

(2) 社会貢献やCSR活動等

- ・ヒバクシャ国際署名
- ・NPO 法人日本ファイバーリサイクル スラムの子どもたちの自立を支援する 衣類・毛布などの回収

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

生活クラブのお店「デポー浦和」2020年3月20日（金）オープン決定。
3/19 加入 800 名、3/20～3/31 オープニングイベントで加入 200 名、3 月末 1,000 名を目指す。

4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
2 月日曜 3 月毎日 開催	デポー市（展示販売会） その他イベントは別紙	オープンに向け、デポー浦和（浦和駅徒歩 9 分・調神社前）で、組合員とともに、デポー市（展示販売会）を開催しています。
2/22	食と環境カレッジ 2019 見直したい魚と私たちの暮らし 講師：上田勝彦さん	漁獲高の減少で漁業不振、一方で日本人が魚を食べなくなったといわれています。魚食を手放していいのか？生産・流通・消費の垣根を越えて活動する上田さんに魚の価値と可能性について聞きます。
2/27	3. 11 を振り返る講演会 & 甲状腺検査活動説明会 シャローム（福島市）吉野氏	福島の子供たちの「これまで」と「今」と「未来」についての講演会と甲状腺検査活動報告、今後の検査実施計画の説明。
2/20① 3/26②	学んで味わう 生活クラブ食育講座 ①「さかな丸ごと食育講座」 ②「弁当箱で見てわかる食事バランス」	食育サポーター（*）が「食べもの選びの大切さ」「食べものの子どもの体への影響」を、わかりやすい実験など、楽しく・びっくり・興味深くお伝えします。（*）食育講座に必要な知識や技術を学んだ生活クラブ埼玉独自資格

(5) 組合員拡大 1 月 31 日 現在

1 月度（人）			4 月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
173	168	5	2097	2309	-211	32,120
デポー事前加入：142			デポー事前加入：442			

(6) 組合員組織状況（1 月 31 日 現在）

班数	786	サークル数	連：469
専門委員会数（本部）	26	グループ数	
支部・運営委員会数	55 支部	支部・運営委員数	

2. 事業報告

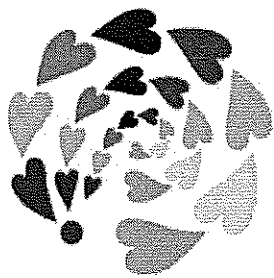
12 月度		4 月より累計	
事業高（供給高）	前年比	事業高	前年比
10 億 5,972 万円	99.66%	69 億 9,702 万円	97.64%

デポー浦和 週次サイクル拡大イベント

週	月日	イベント名	開催時間	場 所	テーマ (広報タイトル)
6	2月11日 火	生産者交流会	11時～13時	つきのみちくさ	野菜の生産者がやってくる (沃土会)
	2月12日 水	食育レッスン	10:30～12時	ONVO SALON浦和	ウィンナー
	2月15日 土	試食会	11時～13時	つきのみちくさ	生活クラブ調味料部門人気N01
	2月16日 日	食育レッスン	11時～12時	つきのみちくさ	夕食に食べたくなるソーセージ選び
	2月16日 日	デポー市	11時～16時	デポー浦和	肉の旨みたっぷりの焼売
7	2月18日 火	試食会	11時～13時	つきのみちくさ	家族に食べさせたい本物の味
	2月22日 土	生産者交流会	11時～13時	つきのみちくさ	旬のお弁当、お惣菜の試食会
	2月23日 日	食育レッスン	11時～12時	つきのみちくさ	夕食に食べたくなるソーセージ選び
	2月23日 日	デポー市	11時～16時	デポー浦和	新鮮なさかなで作ったさば缶のカナッペ
2月27日(木) よりデポー引渡し					
8	2月24日～28日	生産者交流会(未)	11時～13時	つきのみちくさ	(遊佐)
	2月29日 土	試食会	11時～13時	つきのみちくさ	
	3月1日 日	食育レッスン	11時～12時	つきのみちくさ	本当に食べてほしいおやつ
	3月1日 日	デポー市	11時～16時	デポー浦和	山形芋煮
9	3月2日～6日	生産者交流会(未)	11時～13時	つきのみちくさ	
	3月7日 土	試食会	11時～13時	つきのみちくさ	
	3月8日 日	食育レッスン	11時～12時	つきのみちくさ	五感を育てる親子野菜講座
	3月8日 日	デポー市	11時～16時	デポー浦和	
10	3月9日～13日	生産者交流会(未)	11時～13時	つきのみちくさ	
	3月14日 土	試食会	11時～13時	つきのみちくさ	
	3月15日 日	食育レッスン	11時～12時	つきのみちくさ	水だしから始めよう出汁生活
	3月15日 日	デポー市	11時～16時	デポー浦和	
3月	3月2日～	ミニ市常設		デポー浦和	
	3月20日 ～3月31	金 オープニングイベント	10時30分～19時	デポー浦和	

2020 年度

活動計画策定資料



**サステイナブル
フェス!** Sustainable
Festival

次の世代に、笑顔で世界を手渡すための合言葉、

「サステイナブル（持続可能）な社会」。

それを叶えるのは、

毎日の暮らしにも取り入れられる、

人・環境・社会へのやさしさと想像力。

みんなで楽しみながら、身近な暮らしのヒントを探す。

それが「サステイナブル フェス!」です。

2019 年 12 月 18 日

生活クラブ生活協同組合

I. 基本報告・計画

2019 年度 4 月～10 月までの報告

<基本計画（組織・利用・共済・電気）の達成状況>

項 目		2019 年度 計画	2019 年度 実績	2018 年度 同期実績	前年同期 比（％）
組織	期首組合員数	32,331	32,331	32,750	98.7
	加入数（名）	4,550	1,538	2,384	64.5
	純増	2,050	▲168	▲98	—
	組合員数	34,381	32,163	32,652	98.5
利用	世帯当り／月（円）	23,800	23,422	23,479	99.8
	総 利 用 高（円）	94.5 億	52.8 億	54.3 億	97.1
共済	エコロ制度加入率（％）	85.4	77.6	78.6	98.7
	生活クラブ共済“ハグくみ”加入件数	770	240	263	91.3
	CO・OP 共済“たすけあい”加入件数	1,240	330	353	93.5
	CO・OP 共済“あいふらす”加入件数	130	44	95	46.3
電気	生活クラブでんき契約件数	400	111	183	60.7

* 加入計画には 19 年度内開所に向け建設活動中のデポー浦和組合員数 1,000 名を含む。10 月末時点の実績は 89 名です（1 月以降の組織実績から反映予定）。

<2020 年度基本計画（組織・利用・共済・電気）>

項 目			2020 年度計画
組 織	班・個配	期首組合員数	32,400
		加入数	3,500
		純増数	800
		期末組合員数	33,200
	デポ一	期首組合員数	1,000
		新規設置加入数	1,000
		既存デポー純増数	0
		期末組合員数	2,000
期末人数総計		35,200	
利用	班・個配 世帯当り／月（円）	23,800	
	班・個配 総 利 用 高（円）	93.4 億	
	デポー 総 利 用 高（円）	1.6 億円	
共 済	エコロ制度加入率（％）		85.6％
	生活クラブ共済“ハグくみ” 加入件数		800 件
	CO・OP 共済“たすけあい” 加入件数		1,000 件
	CO・OP 共済“あいふらす” 加入件数		200 件
電気	生活クラブでんき契約件数		400

はじめに

2019 年 4 月～11 月に検討してきた第 7 次中期計画では、『自主運営・自主管理を实践する単位である支部を基本組織とする運営は継続しながら、支部の役割を「消費材を使って仲間を増やし、地域に出会いの場をつくる事」と明確化』することとしました。

地域で暮らす私たち組合員一人ひとりが、食の安全、環境、原発、子育て、介護、格差・貧困など不安に思うことを発信することで、同じ思いの仲間が集まります。集まった人たちができることをやっていくことで新しい変化の可能性を生み出します。そして、その積

VI デポー活動

■2019 年度 上半期 成果と課題

1. デポー開所計画

2019 年度 3 月開所を目指し、浦和西エリアにおいて建設活動がスタートしました。開所方針に基づき、各エリアにおいて建設活動をすすめました。

①浦和西エリア

- ・浦和西建設委員会は浦和西デポー最終構想に基づき、物件調査やデポーワークスづくりに取り組みました。
- ・さいたま市浦和区岸町の物件を調査、検討し開設することを決定し、名称を「デポー浦和」としました。
- ・物件がコンパクトなため、構想で計画した惣菜インスタアやフリースペースは見送りでしたが、鮮魚や精肉の加工スペースを設置し、魅力あるデポーを目指します。レイアウトやデザインについて富士電機㈱とともに検討を開始しています。
- ・9 月より事務局の拡大体制を組織し、戸別訪問やキャラバンを始めました。建設委員会では9 月下旬の引渡し時期と前後し、組合員訪問やデポー市に取り組みました。現在デポー組合員は101 名となっています。
- ・デポーワークスは5 月より説明会を重ね、8 月にワークスチームを建設委員会内につくりました。メンバー募集活動を重ね、12 名で準備会を立ち上げ自立した組織として活動を開始しました。拡大を受託して戸別訪問やデポー市に参加していきます。

②西武線エリア

- ・西武線エリアデポー構想一次案を作成し、組合員周知と活動協力を目的に説明会（全6 回開催）、建設予定エリア内に在住する組合員訪問（約400 名）を行いました。
- ・建設活動の参加・協力を広げるため「デポーファンクラブ」の登録活動に取り組み、500 名を超える組合員が集まりました。
- ・11 月、西武線エリアデポー構想最終案が承認されました。2020 年1 月、西武線エリアデポー建設委員会を設置します。

③越谷エリア

- ・デポー越谷建設準備委員会は越谷デポー構想一次案を元に、班長説明会や配達添乗、ミニデポー、各種イベントなどに出向き意見を集めました。12 月の最終構想提案に向け検討を始めました。
- ・デポー建設活動への参加を呼びかけ「わくわく隊」を募っています。

④東上線エリア

- ・東上線沿線の6 支部参加のもと建設準備委員会を開催しました。エリアの検討と併せデポー建設の関心を広げる活動（デポー買い物ツアー、丸井フロアを借用したミニデポー）を行いました。

2. デポー建設の共感を高める取り組み

- ①各エリアの建設活動の取組みや広報をホームページや埼玉メールマガジン、SNS を活用

した情報発信を行いました。

- ②デポー建設において中核的な拡大活動である紹介を拡げるため、埼玉ホームページや「COMEONかもん」紙面の継続掲載による紹介の呼掛けを行いました。
- ③埼玉のデポー及び生活クラブの認知度を高めるため、21の生産者参加による大試食会（LOVEフェス2019）を開催し、1,155名の来場と25名（デポー12名、配送13名）の加入がありました。

3. 開所に向けた活動

- ①デポーの設備・内装・施工をデポー建設に実績がある富士電機㈱を選定し、建設委員会との協議を重ねながら店舗準備をすすめました。
- ②デポー浦和の業務を請け負うデポーワーカーズ「つきうさぎ」が結成され、デポー拡大委託契約を締結しデポー拡大を行いました。デポー業務の理解と習得を目的に研修を行います。
- ③デポーの活動により多くの組合員が関わることを目的にデポーカードの埼玉オリジナルデザインの公募を行いました。
- ④デポー独自品消費材（地場農産物生産者や地域ワーカーズ）の検討は未着手でした。

■2020年度 デポー活動 方針

デポーは地域に存在する拠点として様々な運動と事業の可能性を持っています。現代社会の課題を解決していく多様で独自の活動ができる場であり、地域のたすけあいの拠点にも発展することが可能です。

エリア外の配送組合員も補完的に活用でき、利用を補うとともにお試し利用の場にもできます。

何より、デポー建設を通して地域に暮らす人々に生活クラブが目指すことを発信し共感を高める大きなチャンスでもあります。

エリアの組合員が核となって埼玉全体に大きな力を巻き起こし、直接話す活動を展開することによりデポー開所を成し遂げましょう。

1. デポー浦和の推進

①デポー事業推進

- ・デポー組合員の定着化に向け未利用者への来所促進や口座登録率の向上に向けた対策を検討します。
- ・デポー組合員が消費材の共感を高める活動（デポー交流会や料理講習会など）を通じて来所人数や1回当たり利用金額の向上をはかり、供給計画の達成を目指します。
- ・消費材の価値を訴求する取り組みとして、連合会から提案のある週ごとのフェア企画を実施します。
- ・配送組合員の補完的利用を促進するため、デポーカード登録活動をすすめます。
- ・デポー浦和を強化デポーと位置づけ、事業対策、業務改善や業務サポートに取り組めます。

②デポー運営の軌道化

- ・デポー組合員による運営委員会を主体とした運営を行います。

- ・デポー組合員が運営に参加する仕組みとしてワークシステムの運用を行います。

2. デポーワーカーズ

- ・店舗業務及びデポー運営委員会の事務局をデポーワーカーズに委託します。
- ・開所準備及び業務運営力を高めるための業務研修を実施します。
- ・人材育成や確保、業務課題に向けた対策を生活クラブとワーカーズで共同して取り組みます。

3. 今後の開所計画

①西武線（所沢）

- ・西武線エリアにおいて 2020 年度内の 2 号店開所を目指し、活動をすすめます。
- ・建設委員会や事務局による物件確保に向けた事業性など構想の実現を視点とした選考を行います。より選択条件を拡大するため、リースバック等の契約手段を検討します。

②スカイツリー線（越谷）

- ・スカイツリー線では越谷を建設エリアとして決定し、2021 年度 3 号店開所を目指し最終構想に基づいて建設活動に取り組みます。
- ・テナント、リースバックの物件調査を早い段階で実施します。同時に地域に密着した拡大活動など建設活動の準備を進めます。

③東武東上線（ふじみ野～和光）

- ・引き続き 4 号店以降の建設可能性を検討します。エリア調査や学習会・イベントを通じてデポー建設に向けた主体形成をすすめます。

4. デポー推進体制

- ・デポー政策委員会を開催します。デポー事業状況の把握と対策と、デポー建設の推進と政策・ルールづくりに取り組みます。
- ・支部やブロックはデポー組織と連携し、デポー組合員の活動促進、配送組合員の補完利用に取り組みます。

VII. 地域貢献活動

■2019 年度 上半期 成果と課題

- ①生活クラブ運動グループ「まちづくり方針」は福祉とエネルギーを重点テーマに情報共有を進めています。地域協同組合づくりの実践事例を学ぶ機会として、生活クラブの生産者グループでもある「無茶々園」による学習会を 2 月に実施予定です。また、「まちづくり方針 5 カ年計画」の点検と更新を行い、今後 5 カ年の活動と各団体の連携イメージを確認しました。
- ②東日本大震災被災者支援活動リフレッシュツアーは、川口ブロックを実行主体として開催しました。費用は組合員のカンパで賄いました（4 家族 11 名参加）。
- ③19 年 10 月に東日本を縦断した大型台風 19 号で被害を受けた組合員、関連団体への支援を目的に単協独自のカンパ活動に取組み、約 260 万円の支援金が集まりました。具体的



活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

1月度

生協名	医療生協さいたま
報告者	村崎 郁子

1、組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（12月12日～2月5日）

月 日	会議・催事名称	参加人数・活動内容・特徴等
12月18日	南部ABブロック 保健委員長会議主催 “冬”のウォーキング	行程は自宅近くのバス停からコミュニティーバスを使い、バス路線のハブ的役割に近い川口医療センターに集合後、グリーンセンター内を自由に散策する内容。 川口市のコミュニティーバスを使い、「生活に密着した足」としてのバスを利用し、まちなみチェックも兼ねたウォーク企画に53名参加。
1月17日	県南地域 「地域まるごと健康 づくり まちづくり 活動交流集会」	 100名以上の参加で「一緒に考えましょう いま大切な健康づくり まちづくり」のテーマの講演（高藤常勤監事）をきき、あらためて「きょういく（今日行くところがある）きょうよう（今日する用事がある）ちょきん（健康、筋力維持をする）を確認しました。その後分科会で認知症予防のコグニサイズ（写真）、フレイル予防はお口から、憲法ビンゴで憲法学習、「もしバナカード」をつかったくらしの学校の紹介など体験と交流を行いました。
1月30日	県西地域 組合員活動交流集会	 雪田理事長の講演「認知症になってもわたしは私 いきいき生活」に200名以上の参加、その後、地域で活動していてよかったこと、感動したことを交流し合いました。こちらも100名以上が参加しました。

(2)社会貢献やCSR活動等

社会貢献助成団体選考中。
こども食堂（多世代食堂）事業所で6か所開催。支部開催（秩父地区・影森地域）。
オレンジカフェ事業所で11か所、支部活動拠点1か所（川越東支部「生畑目さん家」）で開催。

(3)組織運営上の政策検討事項等(組織の変更・新設関連や検討状況)

組合員活動推進員制度の試行のふりかえり。
2020年度中期計画作成中。
行田協立診療所建て替え及び小多機開設予定（4月）。
少多機花の木ホーム開所予定（3月）。

(4)今後の主な活動予定(次回の活動委員会迄)

月 日	会議・催事名称	内容・予定人数等
2月14～ 20日	春の地域別総代・ 支部代表者会議	2019年度基本方針まとめ、2020年度に向けた課題共有。2020年度中期計画作成。
2月21日	NPT再検討会議ニュー ヨーク行動代表者交 流会	NPT再検討会議について学び、参加者どうしてアピールの方法や署名の集め方など交流する。
2月29日	法人マネージメン トレビュー	開催目的：①第1回MR以降アウトプットの到達と年度末までの課題を確認する ②2020年度の中心的課題について役職者の認識の一致をはかる③学習講演J A長野厚生連佐久総合病院 診療部長 北澤彰浩氏「病院完結型から地域完
3月3日	全県くらしコー ディネーター会議	全県のコーディネーターを対象に実践の共有と今後の課題を考える機会とし開催。全国の生協の地域助け合い活動を学ぶ。
3月28日	埼玉民医連定期大 会	

(5)組合員拡大・ 12月 末日現在 （1月 15日到着分）

当月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
拡 大	脱 退	純 増	拡 大	脱 退	純 増	
938	750	188	7,953	5,294	2,659	233,814

(6)組合員組織状況 10月 末日現在 （10月 31日到着分）

班 数	1,477	サークル数	16
専門委員会数(本部) (支部)		グループ数	8
支部・運営委員会数	158	支部・運営員数	1,187

運営委員会にはエリア会含む。

2、事業報告 10月決算

当 月 度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
1,970,782(千)円	104.1%	17,564,902(千)円	102.9%

この報告書は活動委員会前日までに県生協連に送付ください。fax048-844-8973

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

生協名	埼玉県労働者共済生協
報告者	塩崎 輝幸

1～2月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
1月29日	埼玉労済理事会および埼玉推進本部代表委員会	<p><主な議題></p> <p>1. 報告事項（理事会）</p> <p>(1) 総合（慶弔）共済事業状況について</p> <p>(2) 二項組合員の承認について</p> <p>(3) 地区委員会 委員長・副委員長の互選結果について</p> <p>2. 報告事項（代表委員会）</p> <p>(1) 地区委員会 委員長・副委員長の互選結果について</p> <p>(2) 2019年12月末事業推進活動状況について</p> <p>(3) 2019年度 関東統括本部・埼玉推進本部 推進活動計画 進捗報告(2019年6月～2019年11月)</p> <p>(4) 2019年度 「組織拡大・運動強化月間」の展開について</p> <p>(5) 「2020年度 地区運営委員会共通 地区共済会活動方針」ならびに「2020年度 各地区共済会活動計画の策定に向けて」について</p> <p>(6) 「ろうきんローン専用住まい共済」推進強化月間（2020年1月～3月）の取り組みについて</p>
概況	<p>1. 2019年度 事業状況について（2019年12月末実績）</p> <p>2019年12月末の事業状況は、総件数1,092,058件、総口数149,646,711口となりました。対期首では件数で411件増、口数で1,250,204口増となりました。</p> <p>対期首で口数が増加している共済は、火災共済（件数は減少）、自然災害共済、こくみん共済（件数は減少）、自動車共済、自賠責共済、慶弔共済です。一方、減少している共済は、団体生命共済（件数は増加）、交通災害共済、長期系共済となっています。</p> <p>2. 2019年度 共済金支払実績について（2019年12月末実績）</p> <p>2019年12月末の共済金支払実績は、2019年度累計件数42,934件 累計支払金額7,221,732,000円となり、対前年同期比 196件減（-0.45%）245,647,000円増（+3.52%）となっています。</p> <p>対前年同期比で支払額が増加している共済は、火災共済（件数は減少）、自然災害共済（件数は減少）、慶弔共済、団体生命共済、こくみん共済（件数は減少）、自賠責共済、個人年金共済、終身共済となっています。一方、対前年同期比で支払額が減少している共済は、交通災害共済、自動車共済、個人長期共済（件数は増加）、団体年金共済となっています。</p> <p>3. 「台風15号・19号を中心とする大規模災害を踏まえた協力団体執行部と連携した無保障・保障不足をなくす取り組み」について</p> <p>2019年9月以降発生した台風15号・台風19号を中心とする大規模災害による被災状況を踏まえ、今後も発生が想定される自然災害に対して、無保障・保障不足の組合員を発生させないため、WEBアンケートを活用した住宅・家財保障の点検活動を、協力団体執行部と連携した運動として2019年12月～2020年2月において展開しています。</p> <p>災害時、誰ひとり取り残さない備えの確保に向け、各組織での取り組みをお願いします。</p>	

4. 「組織拡大・運動強化月間」について

2020年3月～5月において、労働者自主福祉運動のさらなる拡大・発展に向け「組織拡大・運動強化月間」を展開します。

各種共済の利用者が新たな組合員を紹介し、運動の広がりにつなげる「組合員紹介キャンペーン」、東日本大震災発災日かつ埼玉労済創立記念日である3月11日を中心に自然災害への備えを訴求する「第2回労済デー」の駅頭宣伝・ポスティング活動、団体生命共済の実施団体拡大に向けた提案強化に取り組みます。各活動への皆さまの積極的なご参加をお願いします。

5. 2020年4月「マイカー共済」・「個人賠償責任共済」制度改定について

2020年4月に施行される民法改正に伴い、「マイカー共済」では、法定利率改定や高齢化に伴うリスク格差を踏まえた掛金水準の見直し・配偶者の範囲拡大・規定の整理等、「個人賠償責任共済」では賠償共済金額（最高限度額）を1億円から3億円に引き上げる制度改定を2020年4月より実施します。

新しくなった「マイカー共済」・「個人賠償責任共済」について、組合員の皆さまへのご案内・ご周知をお願いします。

6. 「こどもの成長応援プロジェクト」について

こくみん共済 coop では、子育て世帯をサポートし、子どもの健全育成・子どもの体力低下等の社会課題に向き合う取り組みとして2020年1月より「こどもの成長応援プロジェクト」を開始しました。

2020年1月～3月を取り組み期間とし、資料請求・見積依頼者を対象に「見守りカメラ・ドライブレコーダー」が当たる懸賞を行い、応募件数に応じた「縄跳び・大縄跳び」の寄贈を実施します。

7. 2019年台風15号・17号・19号の状況について

台風15号被害の影響が残るなか、10月12日の台風19号においても東日本各地を中心に甚大な被害が発生いたしました。あらためて被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

関東統括本部域では、台風15号に加え、台風19号により被災された組合員の皆さまへ、全国の職員を動員した対応を進め、埼玉推進本部においても、9月18日（水）から11月6日（水）まで1週間交代で延べ41班88名の職員を動員し、共済金の支払いに向けた被害調査を行ってきました。

11月6日（水）以降は、共済金支払集中拠点への支援動員を延べ30名（予定含む）行い、一日も早い共済金のお支払いに注力しております。

こくみん共済 coop では、被災された組合員の皆さまへの対応を最優先事項と位置づけ、総力をあげてお見舞い活動（被害確認活動）および共済金お支払い活動を進めております。協力団体の皆さま方におかれましては、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

<被災受付・対応状況>

※2月5日現在

発災時期	災害名	被災受付件数	うち 書類審査対象件数	うち 現地調査対象件数	現地調査 完了率
2019年9月	台風15号	35,021件 (956件)	12,274件 (381件)	20,378件 (480件)	98.5% (96.9%)
2019年9月	台風17号	4,168件	1,232件	2,629件	98.6%
2019年10月	台風19号	23,076件 (1,674件)	15,555件 (1,154件)	6,200件 (408件)	94.8% (92.9%)

※台風15号・台風19号の()内は埼玉県内の件数・完了率

<共済金支払状況>		※2月5日現在			
		支払金額			支払完了率
発災時期	災害名	火災共済	自然災害共済	合計※慶弔共済含む	
2019年 9月	台風15号	約39億800万円 (約8,200万円)	約71億5,300万円 (約1億4,200万円)	約110億6,900万円 (約2億2,400万円)	80.4% (82.0%)
2019年 9月	台風17号	約3億3,800万円	約5億5,000万円	約8億9,300万円	84.3%
2019年10月	台風19号	約31億7,600万円 (約1億6,600万円)	約74億6,500万円 (約3億8,000万円)	約106億9,100万円 (約5億4,700万円)	65.9% (67.5%)
※台風15号・台風19号の()内は埼玉県内の金額・完了率					
以 上					

(2) 社会貢献やCSR活動等

--

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

--

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
3月30日	埼玉労済理事会およびこくみん共済 coop 埼玉推進本部 代表委員会	

(5) 組合員拡大 月 日現在

月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	

(6) 組合員組織状況（各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください）

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数	
支部・運営委員会数		支部・運営員数	

2. 事業報告（慶弔共済）

2019年5月末累計		2019年11月末累計	
件数	口数	件数	口数
63,490	237,755	65,189	244,692
		1,699 件増	6,937 口増

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

1月から2月度

生協名	東都生協
報告者	荒井 伸幸

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（12月11日～2月12日）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
12/12(木)	クリスマスハートフルフェスタ～ハンドメイド作品の販売会～（第3・第4地域主催）	きょうされんについての理解を深める。 障がいのある方と集い、共同作業所で作られる商品を手に取り交流。 会場：練馬区立区民・産業プラザ（ココネリ）
12/14(土)	《1日限り》の東都商品アカデミー開校！ （組合員活動委員会主催）	東都生協の商品を知り、その伝え方を学ぶ講座。 開校式～「八千代牛乳実験教室」～「東都たまごプリン」の特長、クリスマス折り紙、簡単クッキング～「東都ミックスナッツ」の秘密～修了式 会場：東都生協さんぽんすぎセンター
12/9(月)～1/29(水)	2020年度地域コーディネーター説明会（計7会場）	2020年度新規地域コーディネーター募集、説明会開催 応募：47人
2/6(木)	ほっとはんど交流会～美ボディ&笑顔ヨガ～	「東都生協くらしの助け合いの会 ほっとはんど」が主催、東都人材バンクを講師に正しい姿勢をつくることで自分で自分の健康を守る 会場：東都生協さんぽんすぎセンター
2/8(土)・2/9(日)	おいしさ発見！北海道枝幸漁協の海の幸 枝幸漁協女性部との交流会 （組織運営部・商品部共催）	①「魚つきの森」運動や枝幸漁協、加工工場の紹介②魚クイズ ③魚・はたての料理方法の紹介・試食④試食しながら枝幸漁協女性部のみなさんと交流 2日間参加者：99人 会場：さんぽんすぎセンター、高井戸地域区民センター
2/11(火)	憲法学習会「憲法ってなあに？」からはじめよう （組合員活動委員会主催）	日本国憲法がどのようなもので、どんな目的で誰のためにあるのかなど基礎知識、外国の憲法の違いを学ぶ 講師：板谷伸彦氏（日本生協連 政策企画室 室長） 会場：文京区区民センター
1/28(火)～2/13(木)	2020年度保育ママ研修・登録会（計4会場） （保育ママ委員会主催）	組合員同士の助け合い活動で、子育てや保育経験のある方、特別な資格は不要。2020年度の保育ママ募集。 「子どもと遊ぶ折り紙工作」、保育ママ活動についての説明 講師：東都人材バンク

(2) 社会貢献やCSR活動等

【署名】

- ・『ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名』
7,756筆（web署名130筆含）を「ヒバクシャ国際署名」をすすめる東京連絡会へ送付
（2017年度からの累計28,789筆）
- ・『すべてのゲノム編集食品の規制と表示を求めます署名』 14,155筆（11月6日現在）

【募金】

- ◇台風15号による産地・メーカーへの支援募金状況 13,625,600円（1月6日現在）
- ◇台風19号被害緊急支援募金状況 12,703,200円（1月6日現在）
- ◇東日本大震災支援募金状況（1月6日現在）
 - ・組合員募金 3,200,041円（うち、2019年度973,600円）
 - ・1点1円募金 1,309,471円（うち、2019年度33,407円）
- ◇未来につなぐ募金（1月6日現在）
 - ・8,890,742円（うち、2019年度3,810,600円、2018年度助成予定額1,800,000円含）
- ◇きょうされん第43次国会請願署名およびリサイクル洗びんセンター支援募金
2020年1/20（月）～3/27（金）

【フードドライブ】

- ・NPO法人フードバンク八王子えがお（2回目）
- ・NPO法人フードバンク粕江（2回目）
- ・フードバンク調布（2回目）
- ・NPO法人シェア・マインド（2回目）

- ・フードバンクみたか (1 回目)
- 【るんるんズカフェボランティアスタッフ企画】
- ・企画名：おとな食堂
- 毎月 1 回開催 さんぽんすぎセンター

(3) 組織運営上の政策検討事項等 (組織の変更・新設関連の検討状況)

<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年ビジョンづくり ・WEB 推進室の新設 ・総代の定数変更の検討
--

(4) 今後の主な活動予定 (次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
2/12(水)～ 2/21	2020 年度東都人材バンク登録説明会 (計 4 会場) (組織運営部主催)	東都人材バンク制度は、組合員同士の教え合いや学び合い、組合員が持っている能力や技術を生かしていくことを 2013 年からスタート。活動内容とその仕組みを説明の後登録。
2/22(土)	ちゃんと知ってる？食品表示～知りたいことは裏にある (商品委員会主催)	「食品表示は何が記載されているか」「何を意味しているのか」などあらためて食品表示について学ぶ 講師：森田満樹氏(消費生活コンサルタント) 会場：文京区スカイホール
2/25(火)～ 3/13(金)	2020 年度地域コーディネーター研修 計 4 回	4 月 1 日からの活動スタートに向けて、組合員活動について学習。 講師：東都生協組合員常任理事 会場：東都生協さんぽんすぎセンター
3/7(土)	「産地・メーカーとの交流会」(新加入者) (主催：組織運営部・商品部共催)	新組合員に東都生協商品や生産者のこだわりを伝える場、試食・交流 150 人程度 会場：東都生協さんぽんすぎセンター
3/12(木)～ 13(金)	東日本大震災被災地視察 福島の実状を知り、これからを考える (東日本大震災被災地支援募金企画)	被災地の状況や復興の現状など被災地を訪問し、当時の状況と復興の経過を知る。自分たちができることを考え、行動につなげていくきっかけとする。 協力：コープふくしま
3/17(火)～ 18(水)	震災からの復興、産地との絆交流！ (三陸牡鹿半島表浜「魚つきの森」植樹協議会主催)	(株)マルダイ長沼を訪問し交流し、当時の状況と復興の過程と現状、これからについて見聞きし自身で確かめる

(5) 組合員拡大 12 月 20 日現在

		12 月度 (単月)					年間 (累計)				
		実績	予算比	前年比	予算数値	前年	実績	予算比	前年比	予算数値	前年
加入	センター加入総体	1,133	60.59%	77.92%	1,870	1,454	12,885	77.42%	83.41%	16,643	15,448
	We b 加入システム	50	71.43%	55.56%	70	90	475	79.30%	125.33%	599	379
	他部署加入受付	0	—	0.00%	—	0	0	—	0.00%	0	1
	無店舗加入合計	1,183	84.37%	76.62%	1,940	1,544	13,360	77.49%	84.41%	17,242	15,828
	都内	912	—	81.94%	—	1,113	10,253	—	88.76%	—	11,552
	都外	271	—	62.88%	—	431	3,107	—	72.66%	—	4,276
	都外内訳										
	埼玉県	56	—	54.90%	—	102	869	—	94.66%	—	918
	神奈川県	196	—	63.64%	—	308	1,989	—	64.14%	—	3,101
	千葉県	19	—	90.48%	—	21	249	—	96.89%	—	257
	員外	5	—	#DIV/0!	—	0	40	—	71.43%	—	56
脱退		1,011	91.91%	80.49%	1,100	1,256	11,608	113.43%	109.99%	10,234	10,554
純増		172	20.48%	59.72%	840	288	1,752	25.00%	33.22%	7,008	5,274

(6) 組合員組織状況 (各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

地域	9	保育ママ	87 人
ブロック委員会数	109/550 人	東都人材バンク講師	37 人
ととと会数	76 団体 492 人	ブロックサポーター	250 人
サークル数	21 団体 89 人		

2. 12 月度決算

区 分	単 月			累 計		
	実績	前年比	予算比	実績	前年比	予算比
供給高	2,817,163	97.7%	96.4%	22,521,447	96.6%	96.7%
その他事業収入	68,209	97.3%	113.8%	563,546	101.5%	102.9%
総事業高	2,885,371	97.7%	96.7%	23,084,993	96.7%	96.8%
事業総剰余金	760,415	96.7%	96.5%	6,001,699	96.1%	96.1%
事業経費合計	731,262	97.3%	98.1%	6,556,047	100.3%	99.2%
人件費	343,309	100.7%	96.4%	3,079,362	99.3%	100.6%
物件費	387,954	94.5%	99.6%	3,476,685	101.2%	98.0%
経常剰余金	51,566	84.2%	76.4%	▲ 322,136	635.8%	254.0%
稼働日数	22日	(前年＝22日)		197日	(前年＝197日)	

※百円単位で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(実績の単位：千円)

事業別供給高

区 分			実績	前年比	予算比	コ メ ン ト
共同購入事業	供給高	単月	2,758,463	97.6%	96.3%	12月度はマンションイベントや郵便局イベントの1開催あたり加入数の低迷により、組合員拡大予算を大きく落としました。その結果、利用基盤が低下しました。
		累計	22,015,184	96.4%	96.6%	
	一人あたり平均利用高	単月	6,015	100.8%	90.0%	
		累計	5,404	98.1%	98.1%	
弁当配食事業	利用人数	単月	458,584	96.8%	107.0%	12月度は供給高・配食数、利用人数ともに、前年を超えることはできていますが、利用人数が計画比91.9%と伸び悩み、1日あたりの配食数も1,977食、計画比90.9%と計画を下回っています。
		累計	4,073,656	98.3%	98.5%	
	供給高	単月	25,386	110.2%	90.5%	
		累計	214,528	108.7%	92.9%	
生活文化事業	供給高	単月	26,288	104.5%	110.3%	12月度予算比は供給高は110%で達成、剰余高も114%と好調でした。(前年比も供給高104%、剰余高110%と好結果)
		累計	238,892	101.1%	102.1%	
生活支援事業	供給高	単月	7,026	94.2%	97.9%	12月度供給高は予算比97%前年比94%と及びませんでした。剰余高はハウスクリーニングの直接雇用稼働率向上により前年を上回りました。
		累計	52,843	95.9%	94.7%	

※実績の単位は「供給高」は千円、「1人あたり平均利用高」は円、「利用人数」は人です。

仲間づくりの状況

組合員数			単月	前年比	累計	前年比	前年比		
11月20日	248,639人	100.7%					出資金総額	6,587,893千円	98.5%
加入	1,178人	76.3%	13,320人	79.3%			1人あたり出資金額	26,476円	95.5%
脱退	996人	79.3%	11,530人	106.4%					
純増	182人	63.2%	1,790人	30.1%					
12月20日	248,821人	100.7%							

配食事業 10 月度

		12 月度 単月			2019 年度 累計 (4 月～12 月度)		
		実績 (千円)	予算比	前年比	実績 (千円)	予算比	前年比
供 給 高	弁当	4,565	85.0%	103.0%	39,065	87.7%	100.1%
	おかず	12,871	90.1%	107.5%	109,141	93.0%	108.1%
	国産応援ご膳	7,619	93.8%	114.7%	63,965	95.6%	111.5%
	冷凍弁当	331	123.0%		2,360	111.8%	
	合計	25,386	90.5%	110.2%	214,531	92.9%	108.7%
配 食 数	弁当	8,485	85.0%	103.0%	72,608	87.7%	100.1%
	おかず	23,924	91.6%	107.5%	202,865	94.0%	108.1%
	国産応援ご膳	10,853	93.8%	114.7%	91,123	95.8%	111.5%
	冷凍弁当	239	123.2%		1,705	111.8%	
	合計	43,501	90.9%	108.9%	368,301	93.2%	107.7%
延べ登録人数		207,770	120.1%	141.7%	1,537,437	103.6%	125.6%
延べ利用人数		32,881	91.9%	110.2%	277,144	90.6%	104.8%
稼働日		22	100.0%	104.8%	186	99.5%	100.5%
1日当配食数		1,977	90.9%	104.0%	1,980	93.7%	107.1%

見守り活動報告…12月1日～20日の期間に前日に配食したお弁当がそのまま残っているなどの事象が4件発生しましたが、いずれも安否の確認はとれています。